

# 製鉄所内の輸送を担う専用鉄道

伝えたい千葉の産業技術 100 選

登録番号	第058号
名称(型式等)	製鉄所内の専用鉄道
所在地	JFEスチール株式会社東日本製鉄所千葉地区 千葉市中央区川崎町
	日本製鉄株式会社東日本製鉄所君津地区 君津市君津
設立(竣工)年	①昭和26(1951)年 ②昭和40(1965)年

## 選定理由

製鉄所内では、製銑、製鋼、圧延・製品の各工程間で材料や半製品等の輸送が発生します。その輸送の多くを担っているのが、構内に張りめぐらされた専用鉄道です。鉄1トンを製造するためには、燃料や鉄鉱石、石灰石など10トンもの輸送工程が必要といわれ、構内の鉄道は各製鉄所内で独自の発展を遂げています。

特に、高炉から出た銑鉄工程には、溶銑と溶滓ようさい(不純物)のそれぞれを運搬する専用車両があります。中でも、製鋼工程へと運ばれる溶銑の運搬には、重量が大きく高温(1500℃)の溶けた鉄を運ぶ混銑車(トーピードカー)と呼ばれる車両が使われ、一般的な鉄道車両とは異なる特徴的な形状をしています。これらを牽引する機関車も製鉄所ごとに発展してきた専用のディーゼル機関車で、最近では全自動運転への取組なども行っています。



JFEスチールの高炉とディーゼル機関車



日本製鉄の混銑車(トーピードカー)



日本製鉄のディーゼル機関車



JFEスチールの溶滓車

協力：JFEスチール株式会社東日本製鉄所千葉地区  
日本製鉄株式会社東日本製鉄所君津地区

参考資料：「千葉製鉄所西工場の狭軌道用大型トーピードカー」川崎製鉄技報 1978

「製鉄業における輸送技術の系統化調査」共同研究編第2集 川合 等 2008